



2023年度
Qスクールのご紹介

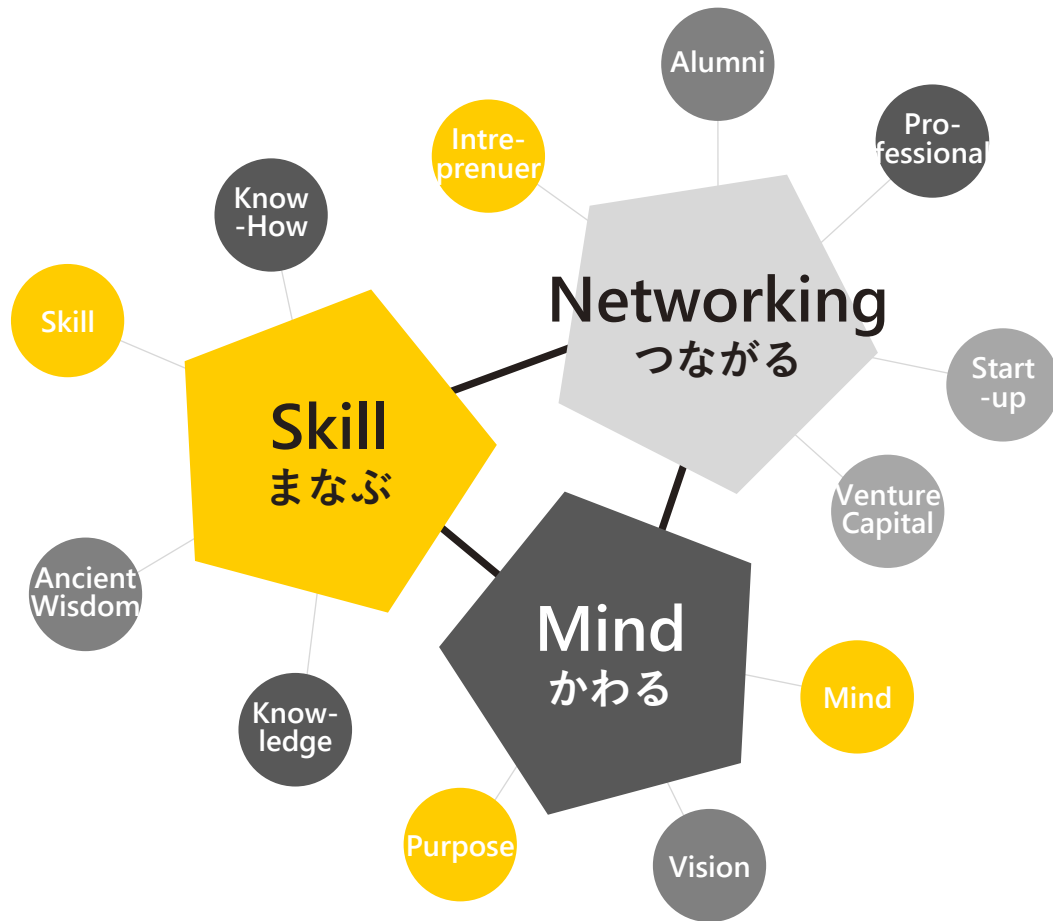
Qスクールとは？

まなび、つながり、かわる、
アントレプレナー人材育成の
実践的総合プログラム

19の講義・ワークショップで、実践的なイノベーション知識を獲得

同じ境遇の仲間たちと、共に成長するための強力なネットワークを構築

マインド・スキル・ネットワークを磨き、自分の可能性を広げて、新たな世界へ覚醒



Qスクールプログラム全体像

5つのコンテンツ **Mind** かわる



Skill まなぶ

19の講義・ワークショップ



Networking つながる

WILL可視化・交流・共創スタート支援



イントレプレナーとしてのスコア診断



BASE Q ラウンジ 利用権
最新の知見に触れる イベント 優待



Skill まなぶ **Networking** つながる

オーナー向けの支援も充実



19の講義・ワークショップ

イントレプレナー研究に基づくイントレプレナーに必要な**3つの知識領域**を軸に19のBASE Qオリジナル講義＆ワークショップを提供します。

A

新規事業戦略
/事業開発ノウハウ

B

アイデア創出
/デザイン思考

C

イントレプレナーシップ
/マインドセット

01 新規事業+オープンイノベーション概論	A C	11 デザイン思考	NEW	B
02 大企業イントレプレナーとしてのマインドセット	C	12 新規事業創造・戦略構築	UPDATE	A
03 新規事業を考える上でのビジネスモデル概論	A	13 自社リソースの分解整理	NEW	A
04 イントレプレナー人材ワークショップ	C	14 より良い仮説検証・より良い人事評価		A C
05 事業計画策定	A	15 ベンチャーファイナンス/ ベンチャー生態系の基礎	UPDATE	A
06 収支計画策定演習	A	16 リーンプロセスのマインドセット		C
07 解像度を高める	UPDATE	17 第一線のベンチャーキャピタリストの頭の中		B C
08 新規事業のための環境分析とトレンド把握	B	18 リーンプロセス演習		A C
09 アイデア創造ワークショップ	B	19 新規事業にまつわる法務		A
10 新規事業の種を見つけるためのリサーチ術	UPDATE B			

* 講義の内容、講師および順番は、一部変更される場合がございます。ご了承ください。

学びを深める仕組み・学びやすい受講環境

Qスクールでは、インプットだけでなく、受講生同士・対講師とのコミュニケーションにより学びが深まると考えています。ラーニンググループの導入など相互意見の活性化、QAタイムによる講師との会話の機会を提供します。その他にも理解を促進するためのモデレーターの導入、オンライン配信対応、アーカイブの完備など多くの方に学びやすい受講環境を整えています。

“主体的に”学ぶ働きかけ



予習の促進や講義終了後のレポート作成を通じて、講義・ワークショップの内容をインプットするだけでなく、自ら咀嚼して考えるよう働きかけます。

ラーニンググループの導入



4名前後のグループ制を導入し、各講義の終了後にはグループでの振り返りの時間、また、一部講座では、グループワークを実施し、自社や自身の内省を深めていきます。より多くの受講生との議論や対話ができるよう、グループはプログラムを通じて数回変更します。

QAタイム/カジュアルタイム



受講生が積極的に質問ができるよう講義を進行し、講義終了後の質問もサポートしていきます。

モデレーターの参加



講義中の学びを深めるため、講師の他、モデレーターが参加し、講義の進行をナビゲートします。

オンライン[Zoom]での配信



講義は、基本的にオンライン配信となり、効率的な参加が可能です。一部の講座ではネットワーキング強化のためオフライン開催を予定しておりますが、その場合においても、オンラインでの同時配信（ハイブリッド開催）を行います。

アーカイブ（講義の録画）を完備



スクール期間中、いつでも視聴可能なアーカイブを完備。講義終了後も復習のための見直しや、欠席回のフォローなどにご活用いただけます。

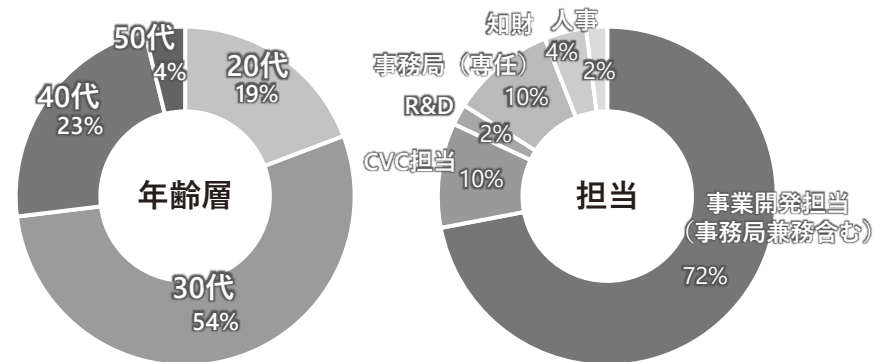
WILL可視化・交流・共創スタート支援

受講生自身の**WILLやミッションを言語化する機会**を提供。受講生同士で課題や悩みを解決するための**アクション支援を実施**します。講義内でのグループワークやディスカッションの場だけでなく、**受講生同士がより深く理解し、相互にコミュニケーション**することで、スクール内のネットワーキング・共創スタートサポートしていきます。

実施回	テーマ
7月 第1回	Will・ミッション言語化プログラム 受講生のWILLや乗り越えたい課題の言語化を支援
8月 第2/3回	Qスクール ショートピッチ (前編・後編) 受講生自身のWILL・ミッション・課題を発表 また自身が受講生に協力できることやアドバイスを考え、相互に理解を深める
9月 第4回	ワークショップ アクションの仕方を学ぶ
~2月	協業・共創活動期間 受講生自身が能動的にアクションをおこす
3月 第5回	アクションの発表・スクール振り返り 今後に向け、アクションの成果を振り返る

■ 2022年度の受講者属性

新規事業に関わる多様な人材に参加いただいています。

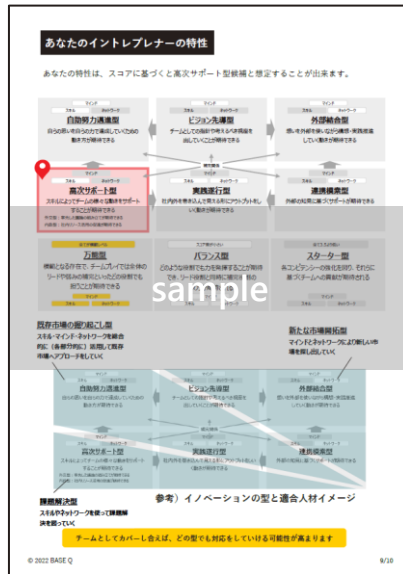
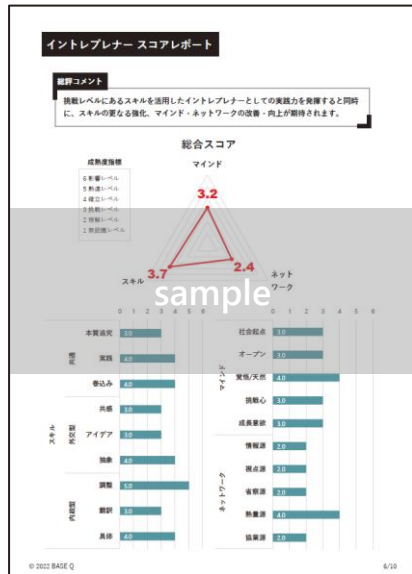


■ 過去の受講実績

旭化成 朝日新聞社 アズワン アステラス製薬 アルプスアルパイン エプソンクロスインベストメント NEC NECネットエスアイ NTTコミュニケーションズ NTTドコモ NTT西日本 大林組 小野薬品工業 オリエンタルランド キグナス石油 キッコーマン キヤノン 京セラ コニカミノルタ コングレ さくら情報システム サントリー食品インターナショナル JSR 四国化成工業 シチズン時計 シーテック 清水建設 ソニー・ミュージックエンタテインメント 大正製薬 大和ハウス 大和ライフネクスト 竹中工務店 TBSテレビ 東京ガス 東京地下鉄 東芝テック トヨタ自動車 日本ケミコン 日本精工 ネットワンシステムズ パナソニック 阪急阪神不動産 日立ソリューションズ 富士通 プロテリアル みずほリサーチ&テクノロジーズ 三井金属鉱業 三井住友銀行 三井不動産レジデンシャル 三越伊勢丹 村田製作所 矢崎総業 ライオン ロッテ (50音順)

イントレプレナー人材診断

Qスクール受講終了後、「BASE Q iスコア（イントレプレナースコア診断）」を実施します。各受講生を個別にインタビューし、「マインド・スキル・ネットワーク」の現在地を可視化します。イントレプレナーとしての強みや今後の取り組みの方向性についてアドバイスをします。



あなたへの処方箋

短期的には強みを活かした新規事業の取り組みを進める際に、得意種では伸びしろといえる得意なタイプや得意の強化を図っていく方向性が提案されます。

診断結果

強みや伸びしろ

改善手法 (処方箋)

参考）チーム編成案

スキル・マインドを先に実践を図る動きが期待されます。

※ 2023 BASE Q

①インタビュー内容をもとに、診断では「スキル・マインド・ネットワーク」を19項目に分類し、行動レベル・成熟度に基づいて、6段階でスコア化します。受講生の特性や強み、今後の伸びしろが明確になります。

②スコアを基に、BASE Qが独自に作成したイントレプレナーの9つの類型に分類します。受講生に適したアクションやチーム内での役割等を考えるにあたり、貴重な情報となります。

③短期・中期の目線から、今後より成長するための取り組みについてご提案します。診断結果は、受講生ならびに上長の方と一緒に振り返り面談を実施し、詳しく解説します。

BASE Q LOUNGE Rights of Use

BASE Q ラウンジ 利用権

BASE Qラウンジの期間内利用権

Qスクールをご受講いただくと、期間中、BASE Qラウンジ（東京ミッドタウン日比谷6階）をご利用いただけます。日常の業務に加え、ミーティングや受講生同士の出会い、上長とのコミュニケーションなどにご活用ください。

利用期間：2023年7月～2024年3月末日

利用可能者：受講生本人、オーナー/受講生上長*

Access

東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷 6F

東京メトロ千代田線、日比谷線、三田線「日比谷」駅出口直結

東京メトロ有楽町線「有楽町」駅直結（徒歩4分）

東京メトロ丸の内線、日比谷線、銀座線「銀座」駅直結（徒歩5分）

JR山手線、京浜東北線「有楽町」駅より（徒歩5分）

*オーナー/受講生上長は原則最大2名（それ以上は要相談）

BASE Qで行われるイノベーション関連イベントへの優待

イベントの優待参加

BASE Qホールで開催されるイベントの優待参加枠を設定します（枠数に制限あり）。

イノベーターとの交流やイベントへの参加を通じて、知見やネットワークの強化にお役立てください。

2022年度の主なイベント事例

オープンイノベーション

- ✓ OPEN異能ベーション
- ✓ Industry-Up Days Autumn 2022
- ✓ SPEEDA New Business Way in real
- ✓ Edvation Open Lab 2022

スタートアップピッチ/デモデイ

- ✓ 地方創生ベンチャーサミット2023
- ✓ TORYUMON TOKYO 2022
- ✓ GLOVAL GEEK AUDITION
- ✓ 東大IPC 1stRound

AI/IoT/ロボティクス

- ✓ MODE Robot & Sensor DX/IoT Showcase
- ✓ SHOWCASE AFRICA 2023
- ✓ CES2023振り返り会
- ✓ HOUSECOM DX Conference

SDGs/社会課題

- ✓ UNDP SDGインパクト
- ✓ 朝日地球会議plus
- ✓ JTBビジネスソリューションEXPO2022
- ✓ 再エネ100宣言 RE Action



オーナー向けの支援も充実

Qスクールの効果を最大限ご活用いただくため、Qスクール参加企業のオーナー様（受講生の上長）には「オーナーミーティング（全4回）」にご参加いただけます。**受講生の成長をBASE Qとともにサポート**いただきやすくするためのコンテンツ、オーナーのみならず同士の交流を図り、**他社事例・新しい視点・ネットワークを得る**きっかけとなるコンテンツをご用意しています。2023年度公式コンテンツとしてご提供いたします。

実施回	テーマ
7月 第1回	キックオフ <ul style="list-style-type: none"> 受講生がこれからどのようなことを学んでいくのか共通理解を持ち、支援目標を設定 参加オーナー同士の自己開示を通じ、相互理解を促進
9月 第2回	オーナー同士の情報共有会 新規事業における自社の成功体験や失敗体験を発表し、互いに事例や課題を共有する
12月 第3回	大手企業の共創事例を学ぶ 他社の事例を参考に、事業共創についてディスカッション
2月 第4回	受講生とのスクールの振り返り方 1年間のスクールの振り返り、イントレプレナー診断の活用方法など、卒業後の受講生との向き合い方を考える

オーナーミーティングご参加者の声



オーナーミーティングに参加したことで、受講生が「スクールで何を学び、どんな状況にあるか？」をあらためて把握することができました。
 このような機会があったことで、上長として受講生に対して「何を伝えることが大切か？」を考えるきっかけとなりました。



各社の様子を知り、状況や課題認識を確認することができました。今後は、オーナーミーティングでできたネットワークを活用し、課題を打破するためのヒントを探りたいと思います。

2022年度Qスクール受講生のリアルな声をご紹介します

Q 新規事業開発担当 N様 K様



体系的に学び、新規事業の解像度・モチベーションがアップ

新規事業に必要な知識やスキルを体系的に学んだことで、自分自身が「何を目的に、何をしたいのか、何ができるのか」について、受講前より解像度を高められました。論理的な思考力も向上したと感じています。自身の考え方やモチベーションが格段に上がり、やりたい新規事業の形も見えてきたところです。



悩みを社外の相手と共有することで、新しい視点を獲得・新しいアクションを実践できた

スクールを通じて社外の相談相手が増え、新しい視点でアイデアやアドバイスをもらえることができました。その結果、新規事業を進めるにあたり、これまでとは違ったアクションを起こせるようになりました。自身ができていなかったことを再確認し、やっていたなかったことをやってみることができるようになって、自信がもてるようになりました。

Q 新規事業担当 マネージャー K様



他社担当者との議論から現場の実態理解が進みサポート力が身についた

私たちの置かれている状況や困りごとを強く意識した講義は、どれも大変満足度の高いものでした。グループワークでは、対話により理解が進み、このような生の議論がこのプログラムの強みだと思います。自社メンバーへ、多面的なアドバイスや各社の実情を伝えることができるようになり、より担当者をサポートすることが可能になったと感じています。

Q 新規事業・CVC担当 R様



ネットワークの重要さに気づき、関係構築を実践できるように

Qスクールでいろいろな方とコミュニケーションを図ったことで、イントレプレナーにとって、いかにネットワークが重要かということに気づくことができました。この気づきと経験によって、スクール以外の社外交流の場で、自信をもってコネクションづくりができるようになりました。

Q 新規事業事務局担当 M様



他社の取組みを知ることで、新企画を立ち上げることができた

新規事業担当者の考えや行動に対する理解が深まったことによって、自分自身の熱量も高まり、事務局業務を推進をしていきたいという想いがさらに強まりました。社外の方々との対話による学びから、これまで社内にはなかった企画を立ち上げることができました。今後も、新規事業担当者にとって、より良い環境づくりを目指していきたいです。

Q 法務部門 知的財産担当 M様



知財部門として新規事業をバックアップするきっかけに

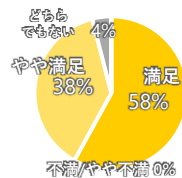
失敗・成功の経験が豊富なプロフェッショナルのみなさんから、幅広く学ぶことができました。知財部門ということもあり、当初は新規事業に対して、あまり自分は貢献できないだろうと思っていましたが、知財部門として、自分ができること・やるべきことがあると自覚できました。社内でのプロセスのみに捉われず、知財部門として必要なことを考え、実行に移したいと思います。

2022年度の開催実績

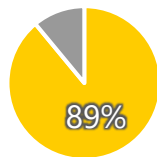
事後アンケートにおいて**総合満足度96%**という、非常に高い評価をいただいています。また半年以上のプログラムにおいても**高い出席率が維持**されており、多くの参加者が離脱することなく継続的な学びを得られています。

受講者数 **52**名 企業数 **29**社

総合満足度 **96%**



平均出席率 **89%**





お申込みにあたって

概要・お申込み・お手続き

Q 概要

- 名 称 Qスクール2023
- 主 催 三井不動産株式会社
- 期 間 2023年7月11日～2024年3月31日
- 価 格 80万円／1人あたり（税抜）
- 定 員 50名（予定）
- 場 所 原則オンライン開催：Zoom配信
一部オフライン（現地参加）とのハイブリッド開催
- 会場：東京ミッドタウン日比谷6F BASE Q
東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
- 内 容 講義（全19回）
受講生向け交流プログラム（全5回）
オーナー向け交流プログラム（全4回）
BASE Qiスコア（イントレプレナースコア診断）
BASE Qラウンジ利用権
BASE Qイベントの優待参加（枠数制限あり）

Q お申込み・お手続き

- Q どのように申し込めばよいですか
- A **事務局（mail@baseq.jp）までご参加希望の旨をメールにてご連絡ください。**担当より、ご返信させていただきます。
- Q いつまでに申し込めばいいですか
- A お申込み・ご契約手続き完了後、ご参加者のみなさまには、受講のための各種ご登録や事前課題のご提出等、開講までのご準備をお願いしております。また、**定員に達した時点で、募集を締め切りとさせていただきます。**
お早めにお申込みいただくことをおすすめいたします。
- Q 見積書は発行できますか
- A **発行可能**です。事務局（mail@baseq.jp）まで、ご連絡ください。担当より、ご連絡させていただきます。

FAQ よくある質問

Q よくある質問

Q スクールは、いつ開催されますか

A **原則、毎週火曜日、19時～21時開催**となります。一部の講座については、曜日および時間帯が異なる場合がございます。
(例：18～21時) * BASE Q公式HPを随時更新します。
(<https://www.baseq.jp/program/school/>)

Q 誰でも参加可能ですか

A Qスクールは、**大手企業において新規事業をご担当する方**、または、**新規事業担当者を支えるためにともに学びたい方**（新規事業運営事務局、新規事業を統括する経営企画部、人事など）を対象としたプログラムとなっております。

Q 各社からの参加人数に制限はありますか

A **同じ部署からは2名程度、同じ企業からは最大5名程度**にてご検討ください。

Q 遠方からでも参加できますか

A 原則オンライン配信のため、参加可能です。一部オフラインで開催のする講座についても、オンラインで同時配信を行う予定です。

Q 開催は年に1回ですか

A 2023年度も年1回を予定しております。



ALL RIGHTS RESERVED